

2018年4月15日発行

K



神奈川県理学療法士会
(公社)神奈川県理学療法士会ニュース
The Kanagawa
Physical Therapy Association
News

P

4 2018
April
No.275

http://www.pt-kanagawa.or.jp

A

Kanagawa Physical Therapy Association

○発行 | 神奈川県理学療法士会 ○代表 | 林 克郎 ○編集 | 森尾 裕志

○発行所 | 〒220-0003 横浜市西区楠町4-12 アーリア20 101号 Tel.045-326-3225/Fax.045-326-3226 E-mail:jimukyoku@pt-kanagawa.or.jp

○会員数

[30.3.1現在]

5,121名

Contents

P1▶巻頭言 P2▶活動報告/会員ライフサポート部活動報告63報 P6▶新人教育プログラム P12▶活動報告
P14▶研修会・講習会 P17▶表彰/会長行動報告 P18▶information P20▶編集後記/原稿送付先

巻頭言



昨今の理学療法士養成を取り巻く動き

湘南医療大学保健医療学部リハビリテーション学科理学療法専攻 坂上 昇

わが国で理学療法士の養成が始まってから50年を越え、平成29年9月現在において、養成校の数（現在募集校）は257校（大学105校、短期大学6校、4年制学校63校、3年制学校83校）となり、今では年間13,000人を越える理学療法士が養成される時代となりました。この理学療法士の養成の根幹となる規則が「理学療法士作業療法士学校養成施設指定規則」（以下、指定規則）になります。この指定規則とは、『理学療法教育のミニマムな基準を定めたものであり、修業年限、教育内容、教員の人数・条件、教育上必要な機械器具の設備、臨床実習施設・実習指導者等について規則』*です。現在、この指定規則の改定が進んでいますので、ポイントとなる項目をいくつか紹介させていただきます。

〔総単位数の見直しについて〕

現行は93単位数以上で運用されているが、新たに必要な教育内容（単位数）が加えられ、101単位数以上とされる。増えた8単位数は、専門基礎分野で4単位数、専門分野で4単位数となっており、専門分野の科目である臨床実習の単位数が現行の18単位数から20単位数へと変更される。

臨床実習の1単位の時間数については、現行は45時間の実習をもって構成することとされているが、40時間以上の実習をもって構成することとし、実習時間外に行う学修等がある場合には、その時間を含め45時間以内とする、と変更される。

〔臨床実習の在り方について〕

臨床実習施設の要件としては、実習時間の3分の2以上は医療提供施設（中略）において行うこと。ただし、医療提供施設における実習の2分の1以上は病院または診療所で行うこと。また、訪問リハビリテーションまたは通所リハビリテーションに関する実習を1単位数以上行うこと、とされている。

臨床実習指導者の要件としては、免許を受けた後5年以上業務に従事した者であり、かつ、厚生労働省が指定した

臨床実習指導者講習会等を修了することが求められている。

臨床実習の方法としては、実習生が診療チームの一員として加わり、臨床実習指導者の指導・監督の下で行う診療参加型臨床実習が望ましいとされる。

臨床実習において学生が実施できる行為についてとして、「学生に許容される理学療法行為の範囲とその水準」が作成されている。

〔専任教員の見直しについて〕

専任教員は、理学療法士として5年以上業務に従事した者で、厚生労働省が指定した専任教員養成講習会を修了した者等に見直される。

平成32年4月入学生からの適用に向けて進められている指定規則改定の概要の一部を紹介させていただきました。上記の内容の詳細については、厚生労働省が公開している「理学療法士・作業療法士学校養成施設カリキュラム等改善検討会」のHPで見ることができます。ご参照ください。

今回の改定は、現状では実行性という点ではまだまだ不明確な部分がありますが、養成校にとっても臨床実習指導者にとっても厳しい内容が盛り込まれることは必至です。前回の改定から20年近く経っての改定になるので、理学療法士養成を取り巻く環境の変化や社会的ニーズに答えられる改定であってほしいと願っています。

今回のニュースの発刊から、本学の教員4名がニュース編集部員としてお世話になることになりました。県士会の理事の皆様、県士会員の皆様、何卒よろしくお祈りします。

※平成30年2月18日（日）に開催された（公社）東京都理学療法士協会主催「臨床実習指導者・養成校教員向け研修会」の資料より

活動報告

復職支援事業 実務研修の体験談 ～最新報告～

ライフサポート部

会員ライフサポート部
活動報告 第63報
職場環境を考える

前号で報告しましたように、本会では離職中の方の復職を後押しできるように、実際の現場で研修（見学や臨床体験）する事業を始めて8年目となりました。今年度は2名の方が研修を受けられ、研修体験を報告してくださいましたのでご紹介します。それぞれの離職理由や抱える不安は違いますが、実際の現場での見学や体験を通して、復職までの具体的な課題が見つかり前向きに活動できることを願っています。来年度もこの事業は継続します。研修希望者募集中です。研修にご協力いただける施設も募集中です。詳しくはホームページをご覧ください。

介護老人保健施設コスモス（午前中のみの5日間）

●参加の動機●

横浜市在住の者です。新卒で小田原市の総合病院に約2年間勤めました。主人の転勤と出産が重なり退職、その後引っ越しをくり返し昨年横浜に戻ってきました。3人の子供達が小学校にあがったので、復職をしたいと思うようになりました。

しかし、経験が浅いうえ、ブランクが10年以上と非常に長く、主人も多忙、両親の助けも受けられない状況で、なかなか踏み出せずにいました。勇気を出して行ったハローワークで「2年でも経験になります！」と言われたのをきっかけに、復職研修を受けようと思いお願いすることにしました。

ライフサポート部の方からはすぐにお返事をいただき、研修先は家から近い介護老人保健施設コスモスに決まりました。その後はコスモスの先生と直接やり取りをして当日を迎えました。

●研修内容●

研修期間は2017年12月平日の5日間、時間帯は午前中でお願しました。初日は施設見学から始まり、老健コスモスの特徴、リハビリの基本的な考え方、特養と老健の違い、地域リハビリや医療介護の連携などについてお話をお聞きしました。その後は先生の担当利用者さんのリハビリを見

学させていただきました。私は実務経験が浅いので、学生の実習のように基礎的な評価から教えていただきました。3日目には訪問リハに同行させていただき2軒のお宅を訪ねました。毎回終わりには振り返りをさせていただき、今後どのような施設で働けるだろうかという相談にもものっていただきました。

●研修を終えて●

今回の研修で一番よかったこと、それは地域の理学療法士の方と繋がることができた、ということです。今後自分がどこで働けるかそれはまだ分かりませんが、この繋がりは私にとってとても心強いことです。そして担当して下さった先生の考え方にも共感でき、私もその心を忘れないでいつか復職できたらと思えるようになりました。10年ぶりの現場に始めは緊張しましたが、雰囲気や理学療法士の方々の姿勢は10年前と変わっていないと感じ、自分もまたこの職場に戻れるかもしれないと少し自信を持つことができました。以前勤めていた頃のことも色々思い出しました。勉強面に関しては教科書を見ることから始めなければなりませんが、主婦の世界から一歩踏み出す良い機会となりました。年末のお忙しい中、老健コスモスの先生方、ライフサポート部の方には大変お世話になりました。心から感謝申し上げます。ありがとうございました。

(有) 訪問看護リハビリテーションネットワーク 訪問看護リハビリテーション麻生（2日間）

●参加の動機●

急性期病院（回復期病棟あり）で3年半だけ勤務後、青年海外協力隊への参加で2年間日本を離れ、その後も家庭の事情により海外在住期間が約2年、帰国後も休職期間が約2年あり、日本の臨床現場から離れてからはおよそ6年間のブランクがありました。

色々な思いから、復職せずに転職することを考えた時期もありましたが、日本での勤務中から関心のあった訪問リ

ハビリの分野に再度興味を持つことがあったことを機に、県士会会報で以前目にしていた復職支援研修の存在を思い出し、問い合わせさせて頂きました。実際の復職の時期や方向性は未定のままでしたが、研修に参加させて頂くことで具体的な復職のイメージやそれまでに必要な準備期間が見えてくればいいのか、と思い申し込みに至りました。

●研修内容●

研修2日間で7件の訪問に同行させて頂きました。訪問先



では、リハビリ実施の様子を見学させて頂くだけでなく、患者様が使用されている医療用具・福祉用具を拝見したり、担当の先生方がそれまでに住環境の改修・調整などでどのような点に介入されてきたか等もお話を聞くことができました。

その他、朝の訪問開始前の時間帯には、朝ミーティングへの参加や、担当の新井先生からの講義も受けさせていただきました。講義では、訪問リハビリにおける理学療法士の役割について、地域の中でどのような施設でどのような職種の方々と連携を持っているのか、また特に、川崎市に特有のネットワークにどのようなものがあるのか、その中で理学療法士として今後期待される専門性や能力がどのようにあるのか等お話し頂きました。

また、各患者様のリハビリ終了後や講義の時間を使って、見学を通しての質問も随時させて頂くことができました。

●研修を終えて●

非常に率直かつ単純な感想ですが、今回研修を受けさせて頂いて本当に良かったです。

理学療法士としての復職にもまだ若干迷いがある中、参考書や研修では絶対にわからない現場での雰囲気や、患者様と直接関わることのできる魅力や、離職以来改めて身をもって感じ、また今までの自分の知識や概念では至らなかった訪問リハビリの難しさと奥深さを感じる事ができ、非常に有意義な研修となりました。

理学療法士としての医学的な知識や保険制度に関する事と、その他、今後復職を考えるにあたって、準備・勉強しなければならないことの多さを思い知らされ、戸惑う部分も非常に多くありますが、少しずつでも勉強や経験を重ね、訪問リハビリの世界で今後復職してみたいという思いに至る大きな後押しとなりました。

研修を受け入れてくださった、訪問看護リハビリテーション麻生の先生方、またこのような貴重な研修の機会を提供して下さっている神奈川県士会、そして、全ての手配を迅速かつ丁寧にしてくださったライフサポート部に、心から感謝申し上げます。

●平成30年度研修会&交流会のお知らせ●

テーマ：今だから聞こうシリーズ「働き続けるためにコミュニケーションを見直そう」その2

講師：中村有先生（東邦大学医療センター大橋病院：臨床心理士）

日時：平成30年7月7日（土）9：30～12：00

内容：スタッフ間や患者さんとのコミュニケーションにも有用な技術である「傾聴」技法を中心に復習し、具体的な悩み事例も交えてコミュニケーション方法を見直します。

※みなさんのコミュニケーションにまつわるお悩みを募集しています！（募集期間：平成30年4月末まで）

→ライフサポート部までメール（lifesupport@pt-kanagawa.or.jp）でお寄せ下さい。

第35回神奈川県理学療法士学会を終えて

第35回神奈川県理学療法士学会 運営委員 総務係

平成30年3月25日（日）に、パシフィコ横浜にて第35回神奈川県理学療法士学会が開催されました。学会当日は、学会長賞を決める口述発表5演題からはじまり、合計では過去最大の158演題の発表が行われ、盛況を得るに至りました。学会運営にあたり、林会長、内田担当理事を

はじめとした県士会理事の先生方や学術大会部の先生方の多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。また、今回参加された県士会員の皆様、県民の皆様、他士会員の皆様にも重ねて御礼申し上げます。



活動報告

(公社) 神奈川県理学療法士会 災害対策委員会 第14回 かながわりハビリテーション・ケアフォーラムに参加しました

(公社) 神奈川県理学療法士会災害対策委員会 災害対策委員会 西澤 茂子

平成30年2月3日(土)に横浜情報文化ホールにおいて、神奈川県リハビリテーション支援センター主催のもと「第14回かながわりハビリテーション・ケアフォーラム」が開催されました。

「災害とリハビリテーション～安定した生活に戻るために、被災地から学ぶ～」をテーマに講演・シンポジウムのほかブース展示も行われました。

講演では被災者であるとともに支援者として地域社会を支えた体験を、宮城県より大内佳子氏(宮城県東松島市保健福祉部福祉課 保健師)と熊本県より河添竜志郎氏(株式会社くすま 理学療法士)のお二人からうかがうことができました。

災害対策委員会からは下田栄次が、講演・シンポジストとして登壇し「災害リハビリテーションにおける支援体制づくり」について講話しました。災害概論や平時における委員会の活動のほか、熊本地震の際に実際に委員が行った支援活動を伝えるとともに、災害時におけるリハビリテーション専門職の役割について紹介しました。

展示ブースでは災害用トイレ「ラップオン」とダンボールベッドを展示して、実際にトイレを操作したりベッドに寝る体験も行っていました。その他にも「あかちゃんとママを守る防災ノート」や「アレルギー児対応マニュアル」、「障害者の災害対策チェックキット」や「ヘルプカード」なども展示して、多くの方が手に取り熱心に読まれていました。

災害用トイレやベッドの値段、避難所にベッドが届けられる支援体制について、各種マニュアルはどこでもら



えるのかなど、多くの質問をいただきました。災害対策について高い関心がある一方で、情報をどこで入手したらいいのかわからず困っている方が多くいると感じました。

災害対策委員会では「災害時に必要な備えや避難時に活用できる福祉用具」をコンセプトにした展示や、災害時における理学療法士の活動の普及啓発を今後も行っていきたいと思います。より多くの皆様の関心とご参加をお待ちしております。





(公社) 神奈川県理学療法士会 災害対策委員会 湘南東部ブロック災害対策キャラバンが開催されました。

災害対策委員会 下田 栄次

去る平成30年2月23日（金）茅ヶ崎リハビリテーション専門学校におきまして湘南東部ブロック災害対策キャラバンが開催されました。

災害対策キャラバンも今回で9回目の開催となりました。茅ヶ崎市より益田貴正氏（茅ヶ崎市役所 市民安全部 防災対策課）、柴田美紀氏（茅ヶ崎市保健所 保健企画課 保健師）、中野祐子氏（茅ヶ崎市役所 福祉部 高齢福祉介護課 保健師）、リハビリテーションの視点から坪内敬典氏（茅ヶ崎リハビリテーション専門学校 理学療法士）よりお話しいただきました。益田氏からは、茅ヶ崎市における避難所と福祉避難所の実際と課題について、柴田氏からは、茅ヶ崎市における平時の地域保健活動について、中野氏からは、神奈川県内においても先進的な取り組みでもある「茅ヶ崎市災害時保健福祉専門職ボランティア事前登録制度」についてご紹介いただきました。平時より茅ヶ崎市では、行政サービスが明確に整備されており、地域包括ケアシステムにおける介護予防事業や日常生活支援総合事業についても保健師の方が積極的に活動されている事、災害時においては、それぞれ所属の異なる部署においても横断的に保健師チームを編成し、

救護所や避難所の巡回支援、在宅被災者への支援を計画していることが分かりました。また坪内氏からは、学校教育の観点から「大規模災害時に理学療法士としてできること」として理学療法養成校における学生への防災教育の取り組みについてもお話しいただきました。また本会理事の立場から災害対策委員会事業についてもご説明いただきました。

湘南東部ブロックエリアコーディネーターの錦織延洋さま、会場の提供から準備のご協力をいただきました茅ヶ崎リハビリテーション専門学校の皆さま、本当にありがとうございました。次年度も災害対策キャラバンを予定していますが、次年度にて本会独自に編成している二次医療圏域プラス1の県内12ブロック、すべてのブロックにて災害対策キャラバンを開催したという事になります。今後も継続した取り組みとして「地域防災」をキーワードにしたブロック活動を活性化していきたいと考えています。皆様のご参加お待ちしております。



新人教育プログラム

平成30年度新人教育プログラムに関するお知らせ

学術局 新人教育部 総務部 データ管理係

新人教育プログラムは、協会入会後の会員への教育・学習環境の整備を目的として導入された制度です。最初のステップである新人教育プログラムの履修について日本理学療法士協会（以下、協会）および神奈川県理学療法士会（以下、本会）での新人教育プログラム修了までの流れおよび手続きについてお知らせいたします。

なお、協会から広報されていますように平成33年度より新制度実施に伴い、現行の新人教育プログラムは打ち切られます。履修途中の場合も単位は無効になりますのでご注意ください。（協会ニュースNo309～310参照）

I. 新人教育プログラム修了までの流れ（図）

新人教育プログラムは、最短1年間で計15単位を履修することで修了できます。履修単位は協会が一元管理します。

新人教育プログラムの単位を全て履修し修了申請をすると、「新人教育プログラム修了証」が発行されます。新人教育プログラムが修了すると、専門分野の登録を行うことで、認定・専門理学療法士制度へ移行します。

「認定・専門理学療法士」を受験するためには、新人教育プログラムを修了して専門分野（旧 専門領域研究部会）登録後2年（認定理学療法士）または5年（専門理学療法士）の期間が必要です。

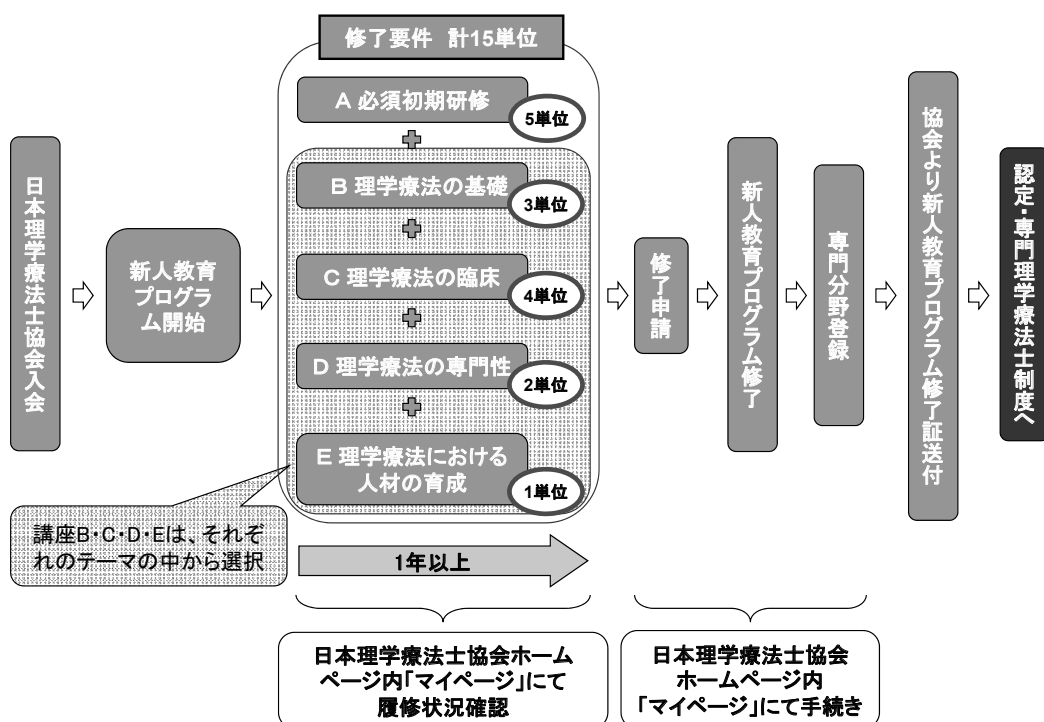
1. 「マイページ」による履修状況の確認について

新人教育プログラムを履修中の方は、必ず協会ホームページ内 会員専用サイト「マイページ」で自分の履修状況を確認し、取得している単位と不足している単位を確認して受講してください。

2. 新人教育プログラムの修了申請について

「マイページ」内で修了済みになった方は、「マイページ」内で修了申請をしてください。“仮修了”となりますので、続けて専門分野への登録をすることで“修了”となります。修了すると「新人教育プログラム修了証」が協会事務局より送付されます。

図)新人教育プログラム修了までの流れ





II. 新人教育プログラムの単位取得

1. 単位について

新人教育プログラムの修了要件は15単位の履修が必要です。

(※平成24年度以降の入会かつ理学療法養成機関で学士及び高度専門士を取得した会員においては、選択単位の「B-3 統計方法論」および「B-4 症例報告・発表の仕方」の2単位が免除され13単位です。間違えて受講の申し込みをして当日キャンセルする方が多いので、必ず「マイページ」の履修状況を確認してください。)

15単位は、必須5単位、選択10単位で構成され、新人教育プログラム対象者は、必須5単位である「必須初期研修」(A-1～5)の受講が義務づけられています。

選択10単位の内訳は、理学療法の基礎(B-1～4)は4テーマの中から3単位、理学療法の臨床(C-1～7)は7テーマの中から4単位、理学療法の専門性(D-1～3)は3テーマの中から2単位、理学療法における人材の育成(E-1～3)は3テーマの中から1単位を取得することになります。

なお、重複したテーマを受講しても他の単位への振り替えや追加単位としては認められません。

2. 受講研修会について

今年度の予定は、国会ニュース4月号「平成30年度神奈川県理学療法士会 新人教育プログラム学術講習会・研修会予定」をご覧ください。最新の情報は国会ホームページに提示されます。また理学療法士講習会や他都道府県士会で企画される新人教育プログラム研修会でも履修可能です。協会ホームページ内「講習会・研修会情報」をご参照ください。

3. 申し込みについて

受講希望者は、協会ホームページの「マイページ」または国会ホームページの「申し込み方法」に従って事前登録をしてください。受付が締め切られると受講予定者データを作成する関係上、以後の申し込みや当日受付は一切できません。Web受付にて事前登録がされると受付完了の返信メールが届きます。研修会当日は、返信メールの内容を印刷するか画面で確認できるものをご持参ください。

ここ数年は会員数の増加のため多くの申し込みがありますが、会場の収容人数を超えた申し込みについてはお断りしております。より多くの方が受講できるように、自分の取得単位をよく確認し研修会当日のキャンセルがないようにしてください。

4. 協会会員証による入退室管理について

協会会員証は、受付処理および受講確認のために必要ですので必ずお持ちください。受講開始時と終了時に使用します。

5. 単位認定について

登録は受付において受講開始時と終了時の2回カードリーダーに協会会員証をかざす必要があります。受付で入力されたデータは研修会終了後に協会へ送信され単位が付与されます。受講開始時と終了時のどちらか入力されてない場合は登録ができない可能性がありますのでご注意ください。「マイページ」には、研修会の終了後6～8週間ほどで反映されます。

①「C-6 症例発表」の単位認定

協会や国会主催の学会での発表は、理学療法の臨床「C-6 症例発表」：3単位が取得できます(申請の必要はありません)。その他、関連学会での発表、学術誌発表については、県士会ホームページ内『理学療法士の皆様へ』⇒『生涯学習システム』⇒『単位・修了認定書について』⇒『新人教育プログラム「C-6 症例発表」申請認定要件』に従って申請してください。

②協会・各都道府県士会主催の研修会について

協会ホームページ内の『会員の方へ』⇒『講習会・研修会情報』⇒『セミナー・講習情報閲覧画面』(<http://www.japanpt.or.jp/members/lifelonglearning/seminar/browse/>)の詳細情報にて新人教育プログラム対応かを確認して申し込みをしてください。

③e-ラーニングの新人教育プログラムについて

e-ラーニングとは、パソコンやインターネットなどのIT技術を活用した教育システムです。平成26年度より協会によるe-ラーニングが一部開始されました。受講については上記「②協会・各都道府県士会主催の研修会について」に従ってお申し込みください。

●お問い合わせ

学術局 新人教育部長 木村充広(横須賀共済病院)
総務部 データ管理係 田中健康

(神奈川県リハビリテーション病院)

E-mail : data2@pt-kanagawa.or.jp

新人教育プログラム

平成30年度神奈川県理学療法士会 新人教育プログラム

講座名	テーマ ※ 1	必須選択		修了要件 (単位数) ※ 7	該当する研修会 ※ 10,11
		必須	選択		
必須初期研修 ※ 2	A-1 理学療法と倫理	1		1	①, ④
	A-2 協会組織と生涯学習システム	1		1	①, ④
	A-3 リスクマネジメント (安全管理と感染予防含む)	1		1	①, ④
	A-4 人間関係および接遇 (労働衛生含む)	1		1	①, ④
	A-5 理学療法における関連法規 (労働法含む)	1		1	①, ④
理学療法の基礎 ※ 3	B-1 一次救命処置と基本処置		1	3	②
	B-2 クリニカルリーズニング		1		②
	B-3 統計方法論 ※ 4		1		②
	B-4 症例報告・発表の仕方 ※ 4		1		③
理学療法の臨床 ※ 3	C-1 神経系疾患の理学療法		1	4 ※ 8	④, ⑦, ⑩
	C-2 運動器疾患の理学療法		1		②, ⑧
	C-3 内部障害の理学療法		1		③, ⑨
	C-4 高齢者の理学療法		1		①
	C-5 地域リハビリテーション (生活環境支援含む)		1		⑩
	C-6 症例発表 ※ 5		3		
	C-7 社会活動・社会貢献 ※ 6		1		
理学療法の専門性 ※ 3	D-1 社会の中の理学療法		1	2	
	D-2 生涯学習と理学療法の専門領域		1		③
	D-3 理学療法の研究方法論 (EBPT 含む)		1		③
理学療法における 人材の育成 ※ 3	E-1 臨床実習指導方法論		1	1	⑤, ⑥
	E-2 コーチングとティーチング (コミュニケーションスキル含む)		1		③
	E-3 国際社会と理学療法		1		②
計				15 ※ 9	

- ※ 1：新人教育プログラムテーマ一覧（上表）は、新人教育プログラムにおけるテーマと修了に必要な単位数の関係を表します。
- ※ 2：「必須初期研修」（A-1～5）の5単位は必修です。
- ※ 3：選択10単位は、「理学療法の基礎」（B-1～4）：選択3単位、「理学療法の臨床」（C-1～7）：選択4単位、「理学療法の専門性」（D-1～3）：選択2単位、
- ※ 4：理学療法養成校において、学士または高度専門士取得者は免除（平成24年度入会者より該当）され取得済みとなっています。協会ホームページ
- ※ 5：PT協会または各都道府県士会主催学会での学術発表・論文発表で取得されます。他関連学会等での発表は県士会ホームページ内「生涯学習シス
- ※ 6：各都道府県理学療法士会が認定した活動への参加。県士会ホームページやニュースでご確認ください。
- ※ 7：重複した履修ポイント基準（テーマ）を受講しても振り替えや追加単位としては認められません。
- ※ 8：理学療法の臨床（C-1～5）は、下記の講習会・研修会で履修可能です。詳細は県士会ホームページやニュースでご確認ください。
- ※ 9：新人教育プログラムの修了要件は、必須5単位と選択10単位の合計15単位（※4の該当者は必須5単位と選択8単位の合計13単位）の履修

選択研修（理学療法の臨床（C-1～5,7））に該当する講習会・

講習会名	テーマ	講師名
⑦神経理学療法領域講習会 (C-1)	運動学・運動力学的視点からみた、 脳卒中片麻痺の理学療法の再考	溝部 朋文 先生
⑧運動器理学療法領域講習会 (C-2)	体幹機能改善を目的とした運動療法 ー評価と運動療法の紹介ー	鈴木 貞興 先生
⑨内部障害理学療法領域講習会 (C-3)	心血管疾患のリハビリテーション ～基本的な知識の整理から最新のトピックスまで～	神谷 健太郎 先生
⑩基礎理学療法領域講習会 (C-5)	姿勢・運動制御の基礎	渡邊 観世子 先生
⑪発達障害理学療法領域講習会 (C-1)	調整中	調整中

- ※ 11：上記講習会⑦～⑩は、新人教育プログラムテーマ一覧（左上表）の⑦～⑩に該当します。それぞれの講習会は同じ講師・内容で2回開催されます。
- ※ 12：その他：理学療法士講習会（基礎編）、学術大会・ブロックPT学会・都道府県士会主催研修会・講習会、都道府県理学療法士学会における新
- ※ 13：詳細および最新情報は、日本理学療法士協会ホームページ、日本理学療法士協会（JPTA）ニュース、神奈川県理学療法士会ホームページ、神



学術講習会・研修会予定

(新人教育部・生涯学習部・臨床実習教育部)

平成30年4月

研修会名 (該当するテーマ)	開催日	会場
①第1回新人教育プログラム研修会 (A-1~5, C-4)	7月8日(日)	神奈川県立 保健福祉大学 講堂
②第2回新人教育プログラム研修会 (B-1~3, C-2, E-3)	10月14日(日)	調整中
③第3回新人教育プログラム研修会 (B-4, C-3, D-2~3, E-2)	12月2日(日)	神奈川県立 保健福祉大学 講堂
④第4回新人教育プログラム研修会 (A-1~5, C-1)	平成31年 2月3日(日)	神奈川県立 保健福祉大学 講堂
⑤臨床実習教育研修会 (E-1)	平成31年 2月17日(日)	調整中
⑥臨床実習教育部教育講演(仮) (第36回神奈川県理学療法士学会内)(E-1)	平成31年 3月24日(日)	調整中

※10：上記研修会①～⑥は、新人教育プログラムテーマ一覧(左表)の①～⑥に該当します。

「理学療法における人材の育成」(E-1～3)：選択1単位です。
内 会員専用サイト「マイページ」にてご確認ください。
テム」申請・認定要件に従って申請してください。

ミナー講習会情報閲覧」でご確認ください。
になります。協会入会1年目でも修了可能です。

研修会

所 属	日 時	会 場
横浜市立脳卒中・神経脊髄センター	1回目	7月22日(日) 関内新井ホール
	2回目	9月9日(日) 調整中
昭和大学藤が丘リハビリテーション病院	1回目	8月25日(土) 調整中
	2回目	11月17日(土) 調整中
北里大学 医療衛生学部	1回目	6月30日(土) 湘南 C-X OZAWA BLDG 大会議室・ミーティングルーム1
	2回目	10月27日(土) 調整中
国際医療福祉大学	1回目	6月9日(土) 藤沢商工会館ミナパーク
	2回目	12月1日(土) 神奈川県立保健福祉大学
調整中	1回目	調整中
	2回目	調整中

人教育プログラム。e-ラーニングによる新人教育プログラム。
奈川県理学療法士会ニュース等でご確認ください。

新人教育プログラム

平成30年度 第1回新人教育プログラム研修会開催のお知らせ

公益社団法人 神奈川県理学療法士会 学術局 新人教育部

この度は、平成30年度 第1回新人教育プログラム研修会の詳細につきましてお知らせいたします。

1. **開催日**：平成30年7月8日（日）
受付開始時間 9：00～（予定）
2. **開催地**：神奈川県立保健福祉大学 講堂
3. **交通**：京浜急行「県立大学駅」下車 徒歩8分
（案内図参照）。
4. **受講費**：本会会員 1,000円
（受講単位数に関わらず一律1,000円）
他士会会員 4,000円
（受講単位数に関わらず一律4,000円）
5. **内容**：新人教育プログラム研修会

予定時間	研修会テーマ	取得単位
9：30-10：30	A-1 理学療法と倫理	1
10：35-11：35	A-2 協会組織と協会学習システム	1
11：40-12：40	C-4 高齢者の理学療法 昼食	1
13：30-14：30	A-3 リスクマネジメント （安全管理と感染予防含む）	1
14：35-15：35	A-4 人間関係および接遇 （労働衛生含む）	1
15：40-16：40	A-5 理学療法における関連法規 （労働法含む）	1

6. **申込方法**：事前Web登録方式です。申込期間内に日本理学療法士協会「マイページ」から事前Web登録を行ってください。
当日受付は一切できかねます。
登録は研修会テーマごとの受講登録が必要になります。**個々のテーマは独立した研修会です**ので各々の登録が必要になります。
受講登録後の自動返信メールをお手元に保管し、受講受付の際に確認できるようにご準備ください。
自動返信メールが届かない場合は、下記の問い合わせ先までご一報をお願いいたします。
本研修会では、受付の際に登録の完了が確認できなければ受講をお断りしております。

7. **申請テーマのキャンセル**：
事前登録で申請したテーマ以外への変更および

び当日キャンセルはできかねますのでご承知おきください。

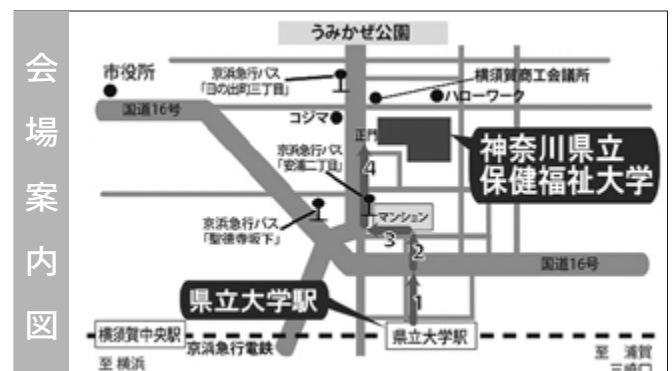
やむを得ずキャンセルしなければならない場合は、研修日以前は本会事務局（office@pt-kanagawa.or.jp）へ、
研修会当日は専用PHS：#070-5020-9036まで必ずご連絡ください。

8. **講義資料**：日本理学療法士協会HPの「マイページ」より各々の受講テーマをダウンロードしご持参下さい。会場での用意はございません。
9. **定員**：450名（先着順）新制度移行に伴い込み合うことが予測されます。日程に余裕をもってお申し込みください。
10. **申し込み期間**：
申込開始日：平成30年6月4日（月）正午～
申込終了日：平成30年7月2日（月）

※事前登録期間内に定員に達した場合には登録を締め切らせていただきます。

- 注）会場等の都合により当日のスケジュールが変更となる場合があります。本会HPにて最新の情報をご確認ください。
- 注）カードリーダーによる受講受付となります。必ず「日本理学療法士協会会員証」をご持参下さい。
- 注）研修終了時に改めて終了受付があります。終了受付を済ませずに帰宅すると、**単位認定できない場合があります**ので注意してください。
- 注）入会手続き後、協会会員証が届いていない方の受講も可能です。受付時に自動返信メールをご提示ください。

公益社団法人 神奈川県理学療法士会 事務局
E-mail：office@pt-kanagawa.or.jp





<重要>変わります！ 新人教育プログラム・生涯学習制度

学術局 新人教育部 木村 充広

日本理学療法士協会（以下協会）は、2021年（平成33年）4月の運用開始を目標に新人教育プログラムを含む生涯学習制度の大幅な改編を予定しております。

この改編は認定・専門理学療法士制度が導入され会員に周知された現在、本制度が他団体と照らし合わせても遜色のない制度となるよう再設計を行い、医療広告ガイドラインへの掲載を見据えた教育制度のアップグレードを目的としています。

詳細につきましては、本会ニュース、HP等で順次広報を行って参りますが、現行制度と比べ明らかに修了要件が厳しくなることが確実となっております。

下記にほぼ確定している新システムの一部について示します。

1. 新人教育プログラムは廃止され「研修理学療法士プログラム」という名称に変更され、下記のように修了要件が大幅に増加します。（修了年数は最短2年）現行の新プロを終えていない場合、取得済み単位はすべて無効となり、新システムを最初から受講しなければなりません。

現行：期間 最短1年 15時間（※13時間）
※高度専門士取得者

更新後：期間 最短2年 91.5時間
（座学43.5時間 臨床研修48時間）
高度専門士免除テーマなし

2. 「研修理学療法士プログラム」が修了した後は、さらに新設される「登録理学療法士プログラム：入会後最短5年」に移行します。

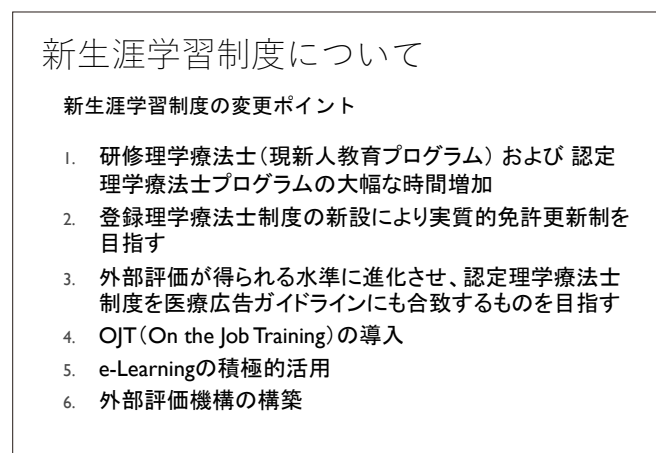
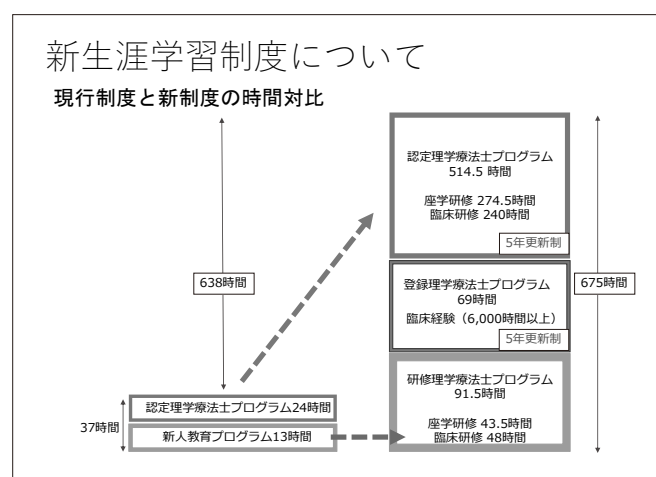
現行：新人教育プログラム修了後、専門分野へ登録後2年で既定のポイント（24時間）を取得し認定理学療法士受験資格を取得。

更新後：期間 最短3年 69時間（座学・演習）
+臨床経験時間6,000時間以上 5年更新制

上記1.2.を修了後、更に新たに新設予定の「認定理学療法士プログラム：514.5時間 5年更新制」を経て認定の受験資格が得られます。（図参照）

このように認定理学療法士取得までのプロセスが大きく変更になります。会員のみならずにおかれましては、今後の情報にご留意いただくとともに、現行制度期間内で取得（修了）可能な要件については速やかに取得していただくことをお勧めいたします。

詳細につきましては、今後変更となりうることもご承知おきください。



活動報告

神奈川県理学療法士会 研究助成制度 平成30年度 研究助成募集要項

主催：研究支援部

1. 研究助成事業の目的

神奈川県における理学療法に関連する研究の発展およびこれに寄与する研究活動の助成を行う

2. 助成対象

- ・神奈川県理学療法士会（以下、本会）の会員が行う研究
- ・本会の会員を含むグループが行う研究（本会会員が研究代表者である必要はないが、当該研究において主要な役割を担うこと）

3. 募集期間

公募期間は平成30年3月1日から5月31日まで

4. 募集件数および助成金額

助成件数：3件 1件あたり上限10万円
審査委員会による審査後に、理事会承認を経て決定

5. 助成金使途

- ①研究に要する機器備品費、消耗品費、対象者交通費、データ収集および調査目的の旅費、通信運搬費、印刷・複写代、研究実施場所借り上げ費、機器レンタル費を対象とする。
- ②学会および講習会等の参加費、旅費は対象としない。
- ③データ収集および調査目的の旅費としての使用には報告書を添付することとする。

6. 提出物

研究助成申込書、研究計画書（目的・計画・経費）の2点、所定様式をダウンロードして使用すること

申し込みは、研究支援部 研究助成担当にメールで添付して申し込むこと

- ・研究助成申込書
- ・研究計画書

7. 助成金の交付

2018年7月から8月の見込み

8. 研究成果の報告

助成年度末に受給者は下記の書類を提出すること。

- ①「決算報告書（領収書添付：宛名は「公益社団法人

神奈川県理学療法士会」で統一）」

決算報告で助成額を超過した分は自己負担になる。

- ②「研究進捗状況報告書」

9. 成果報告の方法

以下の①あるいは②を助成対象者に課す

- ① 神奈川県理学療法士学会での発表（研究代表者が非会員の場合は、研究分担者の会員が発表を行ってもよい）
あるいは神奈川県理学療法士会発行の「理学療法 技術と報告」に研究助成報告書を掲載する（「理学療法学」の研究助成報告書に準じ、A4見開き2ページ以内）
— 発表期限は助成年度の翌年度までとする

② 論文投稿

- 投稿先は、神奈川県理学療法士会発行の「理学療法 技術と報告」または「理学療法学」、および関連職能団体、学術団体発行の雑誌（査読付の論文誌）とする
- 本助成を受けた旨を論文に記載することとする
書式例：「本研究は平成〇〇年度 神奈川県理学療法士会研究助成を受けて実施した。」
- 投稿期限は助成年度の翌々年度までとする（投稿受理証明書または掲載証明書を提出することとする）

成果報告がなされない場合の取り扱い

- ・研究を実施しなかった場合は、補助金の全額返納を求める
- ・研究の発表および論文投稿が困難な場合（予想された結果が出なかった場合等）には、「研究報告書」の提出をもって代えることができる（報告書に発表や論文投稿ができない理由を明記することとする）

【申し込み先】

E-mail：kenkyushien@pt-kanagawa.or.jp
研究支援部 研究助成担当



学術活動助成事業 学術活動団体(サークル) 助成終了のお知らせ

学術局 学術活動支援部長 加茂野有徳

学術活動支援部は、これまで本会会員の学術活動活性化および会員間の連携強化を目的として学術活動(サークル活動)に対する助成事業を行ってまいりました。しかしながら、現在の本会会員数が5000人を超えたことや県内のブロック化が確立した背景を検討した結果、学術活動団体助成事業の役割について一定の成果が得られ、今後は会員のためにより有効な事業へ転換すべきと判断いたしました。そこで平成29年度をもって、本事業は終

了することとなりました(平成30年度は助成の募集をしません)。

助成応募をご検討いただいている会員の皆様におかれましては、ご理解くださいますよう、何卒お願い申し上げます。また、今後とも学術局ならびに学術活動支援部の活動に、ご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

有限会社 木村義肢工作研究所

みなさまのご要望に真摯に向き合い、
生活を手助けするものづくりを提供して参ります。

〒247-0006
横浜市栄区笠間 3-40-5
TEL 045-892-5424 FAX 045-892-5424
www.Kimuar-gishi.co.jp

訪問看護とリハビリの 東京城南4区実績No.1!! ソフィア訪問看護ステーション

厚生労働省 介護保険事業状況報告調べ(平成30年2月5日発表)

ソフィア訪問看護ステーション (30事業所)
ソフィアデイサービス (4事業所)
ソフィアケアプラン (8事業所)
定期巡回・随時対応型訪問介護看護 (2事業所)
医療法人社団ホームアレー運営支援 (2事業所)
行政委託 介護予防事業教室運営 (平成18年~)

訪問看護と在宅医療の教育・研修に特化したWebサイト



訪問看護 エデュケーションパーラー
EDUCATION PARLOR

<http://www.hokan-e-parlor.com/>

訪問看護 パーラー

検索

SP-i

義肢・装具・整形靴・特殊靴など

製作から修理、調整等

湘南義肢研究所

横須賀市小川町27 TEL:046-822-6722

<http://www.sp-i.net/>

研修会・講習会

●県士会主催

平成30年度 基礎理学療法領域講習会のお知らせ (公社)神奈川県理学療法士会生涯学習部

テーマ：姿勢・運動制御の基礎

内容：私達が姿勢を安定させたり意図した運動を遂行したりできる背景には、筋骨格系の構造や機能、神経系の機能、感覚機能、認知機能など、様々な基本的な能力が関わっています。今回の講習会では、ヒトの姿勢および運動制御を理解することをメインテーマとして、これらの基本的な機能が姿勢・運動制御にどのように関わっているかを運動学習や運動イメージなどの知見と合わせて改めて理解したいと思います。また、臨床現場において姿勢や歩行の安定性を得るために多く用いられている杖や歩行器などの歩行補助具について、運動制御の視点からその影響(利点・欠点)をご紹介したいと思います。

日時：同じテーマで日時・会場を変えて2回開催いたします。お申し込みの際は、ご注意ください。

1回目：平成30年6月9日(土) 9時40分～12時40分(受付開始：9時20分)

2回目：平成30年12月1日(土) 時間は調整中

会場：1回目：藤沢商工会館ミナパーク(最寄駅：JR藤沢駅から徒歩3分)

2回目：神奈川県立保健福祉大学(最寄駅：京浜急行県立大学駅から徒歩7分)

講師：渡邊 観世子 先生(国際医療福祉大学)

受講料：本会員2,000円、他都道府県士会員5,000円

受講料は事前に振込みをするか、楽天カードでの引き

落としとなります。振込みの場合は手数料をご負担ください。講習会当日の9日前がお支払いの期限です。入金確認ができましたら、受講登録が完了します。入金の確認が出来なかった場合はキャンセル扱いとさせていただきます。キャンセルについては講習会当日まで可能ですが、支払期日を超えた場合、受講費の返還はされませんのでご了承ください。

申込方法：日本理学療法士協会「マイページ」から、事前Web登録をお願いします。

神奈川県理学療法士会ホームページの[講習会・研修会情報]をご参照ください。

申込受付期間：1回目：平成30年4月9日(月)～5月30日(水)(振込の場合は5月20日まで)

2回目：平成30年9月10日(月)～10月31日(水)(振込の場合は10月21日まで)

定員：1回目：180名(先着順。定員に達した時点で締め切りとなります。)

2回目：100名(予定)(先着順。定員に達した時点で締め切りとなります。)

対象：理学療法士

単位認定：履修ポイントについては現在、詳細を検討中なので、判明次第、本会ホームページにアップしていきます。最新情報は、本会ホームページで確認してください。

お問合せ先：(公社)神奈川県理学療法士会 事務局

E-mail：office@pt-kanagawa.or.jp

お問い合わせはメールでお願いします。

平成30年度 内部障害理学療法領域講習会のお知らせ (公社)神奈川県理学療法士会生涯学習部

テーマ：心血管疾患のリハビリテーション

～基本的な知識の整理から最新のトピックスまで～

内容：本講習会では、普段、心臓リハに携わっていない療法士の方々も理解しやすいよう、重要な心臓の解剖や生理学の知識に言及するとともに、ベッドサイドでのアセスメントや運動療法、最近のトピックスについてもお話ししたい。

日時：同じテーマで日時・会場を変えて2回開催いたします。お申し込みの際は、ご注意ください。

1回目：平成30年6月30日(土) 9時40分～12時40分(受付開始：9時20分)

2回目：平成30年10月27日(土) 時間は調整中

会場：1回目：湘南C-X OZAWA BLDG 大会議室・ミーティングルーム1

(最寄駅：JR辻堂駅から徒歩4分)

2回目：調整中

講師：神谷 健太郎 先生(北里大学 医療衛生学部)

受講料：本会員2,000円、他都道府県士会員5,000円

受講料は事前に振込みをするか、楽天カードでの引き落としとなります。振込みの場合は手数料をご負担ください。講習会当日の9日前がお支払いの期限です。

入金確認ができましたら、受講登録が完了します。入金の確認が出来なかった場合はキャンセル扱いとさせていただきます。キャンセルについては講習会当日まで可能ですが、支払期日を超えた場合、受講費の返還はされませんのでご了承ください。

申込方法：日本理学療法士協会「マイページ」から、事前Web登録をお願いします。

神奈川県理学療法士会ホームページの[講習会・研修会情報]をご参照ください。

申込受付期間：1回目：平成30年4月30日(月)～6月20日(水)(振込の場合は6月10日まで)

2回目：平成30年8月27日(月)～10月17日(水)(振込の場合は10月7日まで)

定員：1回目：180名(先着順。定員に達した時点で締め切りとなります。)

対象：理学療法士

単位認定：履修ポイントについては現在、詳細を検討中なので、判明次第、本会ホームページにアップしていきます。最新情報は、本会ホームページで確認してください。

お問合せ先：(公社)神奈川県理学療法士会 事務局

E-mail：office@pt-kanagawa.or.jp

お問い合わせはメールでお願いします。



平成30年度 神経理学療法領域講習会のお知らせ (公社)神奈川県理学療法士会生涯学習部

テーマ：運動学・運動力学的視点からみた、脳卒中片麻痺の理学療法の再考

内容：近年の脳科学を中心とした神経科学の進歩により、脳卒中患者に対する治療展開の考え方は大きく変わってきているように感じます。一方で変わらないことは、理学療法士は多くの場合が身体外部からの刺激を介したアプローチをするということなのです。臨床では同じ環境で同じ課題を行っていても、ちょっとしたアライメントや姿勢・筋緊張の違いで、患者の反応が全然違うということをよく経験します。これは、アライメントや姿勢が違うことによって、患者に入る刺激の意味が変わるということではないのでしょうか？最新の知見を理学療法に活かすためには、「セラピストの関わりが患者にとってどのような刺激になっているのか」という側面の理解を深めることも重要です。本講習会では、そのための有用なツールの一つである運動学・運動力学という視点から、脳卒中片麻痺の運動療法を考えていきたいと思います。

日時：同じテーマで日時・会場を変えて2回開催いたします。お申し込みの際は、ご注意ください。

1回目：平成30年7月22日(日) 9時40分～12時40分(受付開始：9時20分)

2回目：平成30年9月9日(日) 時間は調整中

会場：1回目：関内新井ホール(最寄駅：JR関内駅から徒歩3分)
2回目：調整中

講師：溝部 朋文 先生(横浜市立脳卒中・神経脊椎センター)

受講料：本会会員2,000円、他都道府県士会員5,000円

受講料は事前に振込みをするか、楽天カードでの引き落としとなります。振込みの場合は手数料をご負担ください。入金確認ができましたら、受講登録が完了します。入金確認が出来なかった場合はキャンセル扱いとさせていただきます。キャンセルについては講習会当日まで可能ですが、入金後の受講費の返還はされませんのでご了承ください。

申込方法：日本理学療法士協会「マイページ」から、事前Web登録をお願いします。

神奈川県理学療法士会ホームページの[講習会・研修会情報]をご参照ください。

申込受付期間：1回目：平成30年5月22日(火)～7月12日(木) (振込の場合は7月2日まで)
2回目：平成30年7月10日(火)～8月30日(木) (振込の場合は8月20日まで)

定員：1回目：180名(先着順。定員に達した時点で締め切りとなります。)

対象：理学療法士

単位認定：履修ポイントについては現在、詳細を検討中なので、判明次第、本会ホームページにアップしていきます。最新情報は、本会ホームページで確認してください。

お問合せ先：(公社)神奈川県理学療法士会 事務局

E-mail：office@pt-kanagawa.or.jp

お問い合わせはメールでお願いします。

●他団体

【触診が苦手な方限定】ROMexを効率的に行うための触診・アプローチ法セミナー end feelを明確にし、機能訓練から動作、ADLまでつなげるROMexを構築する

テーマ：生活に結びついた機能訓練を行う

内容：AM：ROMexに必要な評価

・ROMexを行う目的 ・ROMの制限因子の分類 ・制限因子に対する評価の方法 ・end feelの感じ方(実技)

PM：ROMexに必要な触診・アプローチ法(実技)

・触診(股関節、大転子、大腰筋、大臀筋) ・アプローチ法<関節モビライゼーション/筋膜リリース/PIRを利用したストレッチ法> ・アプローチの効果を持続させるための方法

*詳しい内容はHPよりご確認ください。

<http://lts-seminar.jp/rom/>

開催日時：平成30年5月19日(土)10時～16時

会場：次頁 ※1参照

受講料：7,900円(税込)

講師：大塚 久 理学療法士

平成27年5月療法士活性化委員会を立ち上げ、延べ1,200名の療法士が同委員会のセミナーに参加している。他数名のアシスタントスタッフもサポートします。

定員：24名(先着締め切り) (講師が一人ひとり触診部位を確認し、修得することを第一とするため少人数にさせていただきます。)

注意事項：お申込みはセミナーHPよりお願いします。
<http://lts-seminar.jp/rom/>

お問合せ先：次頁 ※2参照

脳卒中片麻痺に対する麻痺の促通と分離法 効率的に促通を分離を促すために

テーマ：麻痺の回復段階、促通、分離の過程を習得する

内容：・脳卒中の疫学 ・促通と分離について ・麻痺の促通法 ・麻痺の分離法 ・ブルンストロームステージの確認 ・関節モビライゼーション ・筋膜リリース ・ハンドリング法

開催日時：平成30年5月20日(日)10時～16時

会場：次頁 ※1参照

受講料：7,900円(税込)

講師：加藤 淳 作業療法士

他数名のアシスタントスタッフもサポートします。

定員：24名(先着締め切り)

(講師・スタッフが一人ひとり触診部位を確認し、修得することを第一とするため少人数にさせていただきます。)

注意事項：お申込みはセミナーHPよりお願いします。
<http://lts-seminar.jp/paralysisseparation/>

お問合せ先：次頁 ※2参照

研修会・講習会



●他団体

実践！ポジショニング・シーティング法 緊張の上がない姿勢でADLをより効率的にする。

テーマ：シーティング・ポジショニングの目的を理解し、効率的な姿勢の保持と、他職種との連携の方法を学ぶ

内容：・ポジショニング・シーティングの目的 ・ポジショニングの方法 ・シーティングの方法 ・ポジションを取るために必要な機能の評価 ・触診 ・ポジショニング・シーティングを病棟、自宅などで行ってもらうための伝達方法など

開催日時：平成30年6月17日(日)10時～16時

会場：※1参照

受講料：7,900円(税込)

講師：加藤 淳 作業療法士
他数名のアシスタントスタッフもサポートします。

定員：24名(先着締め切り)
(講師・スタッフが一人ひとり触診部位を確認し、修得することを第一とするため少人数にさせていただきます。)

注意事項：お申込みは セミナーHP よりお願いします。
<http://lts-seminar.jp/positioning/>

お問合せ先：※2参照

【触診が苦手な方限定】第7期 6日で学ぶ評価・アプローチのための触診セミナー BASICコース 3ヶ月で触診とアプローチ法を習得。信頼される療法士の土台を作る。

テーマ：触診を通して患者様・利用者様のリハビリをデザインできるようにする。

内容：1か月目 体幹編 2か月目 上下肢編1 3か月目 上下肢編2
それぞれ触診・関節モビライゼーション・筋膜リリース・症例検討等を行います。

*詳しい内容はHPよりご確認ください。

<http://lts-seminar.jp/syokushinbasic/>

開催日時：第7期 平成30年7月7,8日 8月4,5日 9月1,2日

*日程の都合がつかない場合は別の日程へ振替も対応いたします。

会場：※1参照

受講料：6日間で59,800円(税込)

*テキスト代含む *分割でのお支払いも可能です。

講師：大塚 久 理学療法士
平成27年5月療法士活性化委員会を立ち上げ、延べ1,200名の療法士が同委員会のセミナーに参加している。他数名のアシスタントスタッフもサポートします。

定員：24名(先着締め切り)
(講師・スタッフが一人ひとり触診部位を確認し、修得することを第一とするため少人数にさせていただきます。)

注意事項：お申込みは セミナーHP よりお願いします。
<http://lts-seminar.jp/syokushinbasic/>

お問合せ先：※2参照

発達からみる麻痺の回復過程 発達から見る麻痺の回復過程を理解し、適切な評価とアプローチを選択する

テーマ：発達を学ぶことで効率的にアプローチを行う

内容：・発達の段階が必要な理由(発達段階を飛ばしての発達はない)
・麻痺の回復過程と発達の共通点 ・発達段階とその時に必要な機能 背臥位(頭頸部の安定性など) 腹臥位(頭部の立ち直り反応、脊柱・肩甲帯・体幹筋の協調的な活動など) 側臥位(荷重側の体幹の伸展など) 寝返り(頭部のコントロール、上肢の運動など) 坐位(正中位指向、骨盤での支持基底面など) 立位
・必要な評価とアプローチ方法

開催日時：平成30年7月21日(土)10時～16時

会場：※1参照

受講料：7,900円(税込)

講師：高櫻 侑木子 理学療法士
他数名のアシスタントスタッフもサポートします。

定員：24名(先着締め切り)
(講師・スタッフが一人ひとり触診部位を確認し、修得することを第一とするため少人数にさせていただきます。)

注意事項：お申込みは セミナーHP よりお願いします。
<http://lts-seminar.jp/development-2/>

お問合せ先：※2参照

脊柱圧迫骨折に対する評価とアプローチ 脊柱圧迫骨折の病態を理解し、適切な評価とアプローチを選択する

テーマ：病態・評価・アプローチを学び、結果を出せるようになる。

内容：1、脊柱圧迫骨折の病態について
2、介入の際の注意点・リスク管理
3、手術の目的
4、評価

・目的 痛みがあることで困っていることがあるか、痛くなければどうしたいか ・問診 疼痛の範囲、程度(VRS、NRS、FS) ・触診 筋緊張(腹部、背面、側面) ・ROM-T 体幹前屈/後屈/回旋/側屈 ・MMT 体幹前面/後面/回旋 ・姿勢観察 座位、立位での観察のポイント ・動作観察 座位の骨盤前後傾、立位の片脚立位 ・整形外科テスト(Patrick test-FABERE test、Thomas test、FFD、SLR)

5、評価から抽出された問題点に対する介入法

関節モビライゼーション、筋膜リリース、DS法

開催日時：平成30年7月22日(日)10時～16時

会場：※1参照

受講料：7,900円(税込)

講師：林 凌磨 理学療法士
他数名のアシスタントスタッフもサポートします。

定員：24名(先着締め切り)
(講師・スタッフが一人ひとり触診部位を確認し、修得することを第一とするため少人数にさせていただきます。)

注意事項：お申込みは セミナーHP よりお願いします。
<http://lts-seminar.jp/compressionfracture/>

お問合せ先：※2参照

表 彰

平成29年度、会員で表彰された方です。

受賞の皆様、おめでとうございます。(所属は受賞時)



神奈川県保健衛生表彰
炭 孝昭氏
(太田総合病院)



神奈川県公衆衛生協会会長表彰
田中 健康氏
(神奈川リハビリテーション病院)



神奈川県保健衛生表彰平塚保健
福祉事務所長表彰
今関 由紀氏
(済生会湘南平塚病院)

月	日	内容	場所
12月	9日(土)	第9回常任理事会	事務所
	15日(金)	地位向上委員会	事務所
	16日(土)	PT協会ヒヤリング対応	事務所
	16日(土)	第6回事業運営会議：拡大会議	事務所
	24日(日)	PT協会、スポーツ理学療法士育成必須研修会	横浜医療情報専門学校
	26日(火)	第2回かながわパラスポーツ普及推進検討会議	県庁
H30年 1月	7日(日)	PT協会、スポーツ支援推進執行委員会	田町カンファレンスルーム
	11日(木)	第10回常任理事会	事務所
	12日(金)	神奈川県臨床検査技師会賀詞交換会	キャメロットジャパン：相川事務局長代理出席
	17日(水)	介護支援専門員協会法人設立祝賀会	ロイヤルホール横浜
	17日(水)	神奈川県病院協会賀詞交換会	ホテルニューグランド：炭副会長代理出席
	18日(木)	神奈川県保険医協会賀詞交換会	ベイシェラトンホテル：佐藤副会長代理出席
	25日(木)	第7回事業運営会議	事務所
	26日(金)	神奈川県栄養士会	崎陽軒本店：隆島副会長代理出席
	31日(水)	東京オリパラ準備委員会	事務所
	2月	1日(木)	第11回常任理事会
3日(土)		第14回かながわりハビリテーションフォーラム	横浜情報文化センター
4日(日)		田村ゆうすけ新春の集い	ベイシェラトンホテル
4日(日)		神奈川県放射線技師会創立70周年記念パーティー	ホテルニューグランド
16日(金)		神奈川県理学療法士連盟総会	事務所
17日(土)		関東甲信越ブロック士会長会議	大宮
21日(水)		神奈川県医療専門職連合会理事会	臨床工学技士会
22日(木)		第5回理事会	事務所
24日(土)		湘南慶育病院セミナー	湘南慶育病院
25日(日)		神奈川県地域リハビリテーション三団体協議会、地域包括ケアシステム三士会合同研修	横浜ワールドポーターズ
3月	26日(月)	横浜市泉区多職種研修会	横浜市泉区医師会館
	1日(木)	第12回常任理事会	事務所
	3日(土)	地域組織対策本部情報交換会	横浜リハビリテーション専門学校





日本理学療法士協会会員証の運用について

会員の皆様方のお手元には「日本理学療法士協会 会員証」が届いていると思います。



今後、神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の参加受付の際に必ず必要になります。携帯する様をお願いします。

紛失・破損等による再発行は、**有料（500円税別）**となりますので、ご注意ください。

*再発行の申請については、日本理学療法士協会のホームページをご覧ください。

神奈川県理学療法士会や日本理学療法士協会の主催事業の

申込をする際には、日本理学療法士協会ホームページの「マイページ」からの申込になります。

「マイページ」にログインするには、ID・パスワードが必ず必要となります。

*「ID・パスワード再発行」は「マイページ」（「ログインできない方は「こちら」をクリック）から再発行申請手続きを行って下さい。

【注意事項】

- ・再発行申請には個人のメールアドレスが必須となります。
- ・再発行申請後に仮受付メールが送信されます。仮受付メールに記載されているURLリンクを開いて、申請を完了して下さい。
- ・メール受信拒否設定されている方は『@ml.japanpt.or.jp』の受信を許可して下さい。

(公社) 神奈川県理学療法士会
事務局長 相川 浩一

楽天カードへの手続きはお済みですか？

☆協会指定会費決済クレジットカードが楽天へ変わりました

☆楽天カードの主な特徴と機能

- 「楽天カード」はカード申し込みがネット上からでき、永年年会費無料。
- 会費（初年度除く）の自動引落しが可能です。
- 書籍購入（一部割引）等が可能となります。

*詳細については、日本理学療法士協会ホームページをご覧ください。

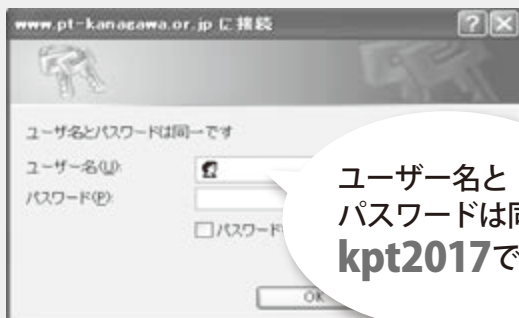
～申し込み方法～

①楽天カードへの新規申し込みを日本理学療法士協会ホームページの「会員専用ページ」より申し込み下さい。

*楽天カードを既にお持ちの方は、所定の手続きをしますとお手持ちのカードが決済カードとして利用可能です。日本理学療法士協会ホームページより「会員専用ページ」にてご確認ください、手続きを行って下さい。

(公社) 神奈川県理学療法士会
事務局長 相川 浩一

アクセス認証が必要です！



本会ホームページの会員ページの（認証あり）と表示のあるサイトの閲覧時にはユーザー名とパスワードが必要です

パスワードは1年毎に変更になります

ご不明点は、トップページの「お問い合わせ」からお寄せ下さい

担当：ウェブサイト管理部

理学療法「技術と研究」46号における広告掲載不備に関するお詫び

2月16日に発行されました学術誌、理学療法「技術と研究」46号に掲載された企業広告掲載に関して一部規定よりも小さく、誤ったレイアウトの掲載になりました。原稿校正過程における確認不足に起因するもので、掲載企業の湘南義肢研究所様、並びにソフィアメデイ株式会社様にも多大なご迷惑をお掛けしたことを深くお詫び申し上げます。今後このような事が無いよう十分注意を払いながら編集作業を進めて参りますので、何卒ご容赦下さいますようお願い申し上げます。ここに改めて企業広告を掲載いたします。

義肢・装具 整形靴・特殊靴

湘南義肢研究所

フットケア用インソール、整形靴、
福祉機器レンタルから住宅改修まで
義肢・装具の作り替えや修理などもご相談ください

〒238-0004 **湘南義肢研究所**
神奈川県横須賀市小川町27
TEL:046-822-6722 FAX:046-822-6425

SHONAN PROSTHETIC INSTITUTE.INC

福祉用具・車いす・座位保持装置・住宅改修部門

湘南グッドライフインダストリー
湘南義肢研究所内 TEL:046-804-3030

SHONAN GOOD LIFE INDUSTRY.INC

厚生労働省 介護保険事業状況報告調べ（平成29年6月20日発表）

東京城南4区実績 No.1!!

訪問看護とリハビリの

ソフィア訪問看護ステーション

<http://www.sophiamedi.co.jp/>

ソフィア訪問看護ステーション	(28事業所)	定期巡回・随時対応型訪問介護看護	(2事業所)
ソフィアデイサービス	(4事業所)	医療法人社団ホームアレー運営支援	(2事業所)
ソフィアケアプラン	(7事業所)	行政委託 介護予防事業教室運営	

訪問看護と在宅医療の教育・研修に特化したWebサイト



訪問看護 エデュケーションパーラー
EDUCATION PARLOR

<http://www.hokan-e-parlor.com/>

訪問看護 パーラー

検索

総 会 告 示

公益社団法人 神奈川県理学療法士会 第39回定時総会

日 時：平成30年**6月17日**(日) 9時30分～11時00分 (9時より受付開始)

会 場：横浜リハビリテーション専門学校 8階講堂

横浜市戸塚区品濃町550-1 (JR横須賀線 東戸塚駅下車 下記地図を参照)

- 1) 総会に出席できない場合は、必ず委任状か議決権行使書を提出して下さい。
- 2) 総会資料・会員証は、必ずお持ちください。

総会時講演会

日 時：平成30年**6月17日**(日)

11時00分～12時30分

講 演：11時00分～12時00分

質疑応答：12時00分～12時30分

テ ー マ：『未定』

講 師：調整中



* 総会および総会時講演出席者には該当する下記のポイントが付与されます。

- 1) 専門理学療法士ならびに認定理学療法士資格取得および更新に関わる履修ポイントの“都道府県士会主催の講習会・研修会 10ポイント”すべての領域に該当します。
- 2) “地域包括ケアシステムに関する推進リーダー制度”の国会指定事業になります。
- 3) 新人教育プログラム C-7 士会活動・社会貢献に該当します。

編 集 後 記

先日、第53回理学療法士国家試験の合格発表が行われ、この春から理学療法士になられた方もいらっしゃるのではないのでしょうか。おめでとうございます。実を言うと、私たちもこの春から神奈川県ニュース編集を引き継ぐことになったフレッシュマンです。40歳を越えてもフレッシュマンです。私が国家試験を受験してから20年以上経過していますが、世相の変化に伴い国家試験内容も年々変化しているようです。癌に対する理学療法の出題が増え、いつの間にか、「正常可動域」は「参考可動域」、「踵接地」は「初期接地」と表現が改められています。そして、前鋸筋MMTは、より難解な検査へ変貌しています。煩雑になった部分も否めませんが、より正確になったといえるのかもしれませんが、このように、時代の変化に伴い、我々理学療法士は、より世相に合致した職種として変化していく必要があります。巻頭言にもあるように学校養成施設指定規則も変わります。学生に対しては、訪問リハビリテーションや通所リハビリテーションでの実習が盛り込まれます。数年後には、ロボットスーツの適合方法や再生細胞移植後のリスク管理など、今では想像できない国家試験問題が出題されるようになるかもしれません。変化して行く世相の中で、私たちフレッシュマン編集部も伝統を守りつつ、トピックに追随したニュースを会員の皆様に届けられればと思っています。おじさんたちの集まりですが、今後とも、よろしくお願い致します。(森尾)

次号の原稿締め切りは平成30年**6月6日**です。

湘南医療大学 保健医療学部 リハビリテーション学科 (ニュース編集部宛)

news-hensyubu@pt-kanagawa.or.jp

〈原稿は添付ファイルでお願いいたします〉

※原稿受取確認を希望する場合は開封確認機能をご利用ください。円滑な編集作業へのご理解とご協力よろしくお願いたします。

◆ ニュース編集部員 ◆

担当理事：露木 昭彰 (足柄リハビリテーションサービス)
 部 長：森尾 裕志 (湘南医療大学 保健医療学部)
 部 員：中尾 陽光 (湘南医療大学 保健医療学部)
 下田 栄次 (湘南医療大学 保健医療学部)
 中村 壽志 (湘南医療大学 保健医療学部)

